

市川市立福栄中学校 令和7年度 学習の指針

教科

数学科

学年

1年

I. 学習の目標

- (1) 正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考慮したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づいて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。

2. 学習計画

	学習内容	学習のねらい
I 学期	1章 正の数・負の数 2章 文字の式	1章 正の数と負の数の必要性と意味を考える。 正の数と負の数について学んだことを生活や学習にいかす。 正の数と負の数を活用した問題解決の過程をふり返って検討する。 2章 文字を用いることの必要性と意味を考える。 文字を用いた式について学んだことを生活や学習にいかす。 文字を用いた式を活用した問題解決の過程をふり返って検討する。
2学期	3章 方程式 4章 变化と対応 5章 平面図形	3章 一元一次方程式の必要性と意味を考える。 一元一次方程式について学んだことを生活や学習にいかす。 一元一次方程式を活用した問題解決の過程をふり返って検討する。 4章 比例、反比例の必要性と意味を考える。 比例、反比例について学んだことを生活や学習にいかす。 比例、反比例を活用した問題解決の過程をふり返って検討する。 5章 平面図形の性質や関係を捉えることの必要性と意味を考える。 平面図形について学んだことを生活や学習にいかす。 基本的な作図や図形の移動を活用した問題解決の過程をふり返って検討する。
3学期	6章 空間図形 7章 データの活用	6章 空間図形の性質や関係を捉えることの必要性と意味を考える。 空間図形について学んだことを生活や学習にいかす。 空間図形の性質や関係を活用した問題解決の過程をふり返って検討する。 7章（1節） ヒストグラムや相対度数などの必要性と意味を考える。 データの分布について学んだことを生活や学習にいかす。 ヒストグラムや相対度数などを活用した問題解決の過程をふり返って検討したり、多面的に捉え考えようしたりする。 7章（2節） 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性と意味を考える。 不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習にいかす。 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとする。

3. 評価

(1) 内容および方法

	評価の内容	評価の方法
①知識・技能	各単元の基礎的な知識や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けているかを評価します。	授業の様子、定期試験、単元テストなどで評価します。
②思考・判断・表現	数量の関係や図形の性質などを論理的に考察し表現する力、データの分布に着目し、その傾向を考察して判断したり、事象の起りやすさについて考察したりする力が身に付けているかを評価します。	授業の様子、定期試験、単元テスト、レポートなどで評価します。
③主体的に学習に取り組む態度	授業に意欲的に取り組み、一生懸命努力しているかを評価します。	授業態度、振り返りシート、授業内の発言内容などで評価します。

(2) 観点と評価の関係

			評定
A	A	A	5
A	A	B	4
A	B	B	
A	A	C	
A	B	C	
B	B	B	
B	B	C	
A	C	C	3
B	C	C	2
C	C	C	1

<評価の注意事項>

評価は左のように統一することになります。気を付けなければならぬのは、テストで100点をとれた（「知識・技能」が“A”）としても、「主体的に取り組む態度」でAがとれなければ「5」はとれないということです。また、その逆も同じで、テストで点数が悪かったが、提出物を出せば救われていたという人も、提出物の内容次第では評価を上げることはできません。

昨年度までと変わりませんが、より試験結果以外のもの・普段の授業も重要になるということを十分理解してください。

4. 教科に関するアドバイス

数学は、学習の積み重ねがとても大切な教科です。授業に意欲的に参加し、諦めずに粘り強く取り組みましょう。また、日々の復習も大切です。定期試験や単元テスト前に集中して復習するのではなく、その日に授業で習ったことを振り返り、何を学んだのか、何がわからなかったのかを明確にし、ワークを活用しながら家庭学習をしましょう。